事務事業評価表(平成26年度)

事業コ	− F	750		課コード	0604	会計種別	公共下水道事業	特別会計		予算の種	重 類	■政策	□経常	口なし
1.事	業の概要(PLAN)													
		①事業名	基本事業			実施計画への 位置づけ ● 有 ○無 ②部課名 建設部・治水課								
		個別事業 若松地区排水ポンプ整備事業 ③事業主体 ●市 ○その他(業)				1湖北	□新木	□布佐	□全市	
(1)事業概	亜	⑤事業期間			5年度 ~ 平成29年度		④対象地区⑥担当職員数	■我孫子		9 人	(換算人数		1.15 人)	
(1) 4 20 10		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,	900,000 千円	当該(開始)年度 (当 初) (変更後)					ち人件費 10,695 千円) ち人件費 千円)			
		⑧施策の位置づけ	施策	62401	重点プロジェクト	基本計画地区別	● 左			部門別計画への(計画名)「郷市排水施設の		整備		
			1-1		への位置づけ への位置づけ ため、計画的に幹線排水路、ポンプ場などの	重点なし 雨水排水施設や、調	計画への位置づけ整池		皮害を軽減させる。		位置づけ	(11 (11 (11)	10 17 77 70 ELX V	TE NH
(2)目的		施策目的・ 展開方向	などの雨水流出抑制施設の整備・改修を進めるとともに、施設の適切な維持管理を行います。 事業目的											
(3)事業内容		内容	若松地区は、地盤が低く手賀沼との水位差が少ないため、内水が円滑に排除されず、頻繁に浸水にしている。浸水被害対策は、5箇所の樋管の築造に合わせ、低段地区は、ボンブ・自然排水併用ことから、4箇所のポンプ場を改修し、高段地区は、自然排水としていることから、手賀沼に直専用管 (バイパス管)を布設する。また、若松地区の自然排水は、手賀沼の水位の影響を受ける管理している北千葉導水路管理支所(国)との連携を図り浸水被害の軽減に努める。					繰越した樋管 (2箇所) の築造、ポンプ場 (1箇所) の改修 雨水管実施設計、家屋調査等						3
(4)達成目標(期待する成果) 当該(開始)年度				活動結果指標 指標種類			標		単位	実績値	(6)目標値			
		樋管工事に伴う家	屋調査、補償を行う	11 保 早立 直接 家屋調査、補償契約の締結 雨水管実施設計の完了 %					0					
3 年後		バイパス管690mを完了させる。					直接	管布設延長				m	0	690
最終(概ね5年後)		事業を実施することで、若松地区の浸水被害を軽減させる。 千葉県が実施する手賀沼湖岸提整備との調整を図り、事業を進める必要がある。						整備率				%	0	100
(7)事業実施上の課題と対応		十某県が実施する 	+ 質冶湖岸提整備と	の調整を図り、事業	を進める必要がある。		代替案検討	O有	●無					
			平成25年度		平成26年月	₹		平成2	7年度			平成	28年度	
		東	内容	金額(千円)	策		績値(千円) 政策	内容		注額(千円)	政策	内 容		金額(千円)
(8) 施行事	実施内容 項 費 用	************************************	極管付帯工事(第1・2排水区) 50,000 極管築造に伴う復旧工事 10,000 家屋事後調査(8件)(第3,4,5) 4,000 家屋補償(8件)(第3・4・5) 4,000 家屋専前調査(樋管) 800 東京電力移設負担金(樋管) 3,000 設計単価特別調査・修正設計 1,000		* 家屋事後調查 (樋管) 2,000 2,000 (租管) 2,000 (租赁) 2,000 (租赁) 2,500 (租赁) 2,500 (租赁) 2,500 (租赁) 2,500 (租赁) 2,500 (租赁) 2,500 (租赁) 3,400 (租赁) 4,000 (租赁) 3,400 (租赁) 3,400 (租赁) 4,000 (租赁) 4		* バイパス管工事(3-1工区)(交付金) * バイパス管工事(伴う付帯工事 * 水道移設工事(3-3、4-1工区) * 水道検査手数料 * 特別調査 * 東電移設負担金 * ガス移設補債(4-1工区) * 下水道移設工事(4-1工区) * NTT移設負担金 * 家屋事前調査			115,600 * バイパス管工事(3-2,3-3,4-1工区)(交 21,000 * バイパス管工事(件う付帯工事 7水道移設工事(1,4-2工区) 1,000 * 水道移設工事(1,4-2工区) 水道移設工事(3-3、4-1工区) 水道移設工事(3-3、4-1工区) 水道移設工事(3-3、4-1工区) 水道移設工事(3-3、4-1工区) 水道移設工事(3-3、4-1工区) 水道移設工事(3-3、4-1工区) 水道移設工事(3-4、4-1工区) 東電移設自担金 家屋事後調査 * 家屋事後調査 * 家屋補償 * 特別調査				183, 000 37, 400 21, 500 25, 100 9, 700 800 10, 500 13, 900 2, 000 6, 500 6, 500 1, 000
	予算(済)額 国庫支出金	: : : : : : :	計 50 %	702, 310 143, 650		236, 300 46, 700	補助率	合 計	50 %	180, 850 57, 800		合 計	50 %	330, 500 91, 500
(0) [1]	県支出金	補助率	0 % 100 %	424. 000	0 %	126, 700	補助率		0 %	57, 800 57, 800	補助率		0 % 100 %	91, 500
(9) 財源内	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		□債務 □基金 □その	(62, 900		□受益 □債務 □基		0 65, 250		益 口債務 口]基金 □その他	0 147, 500
(10) 人件費等 (10) 人件費等 (電託職員報酬額 庭時職員賃金額 事業費(予算(済)額+正職員人件費)		1. 05 9, 765			1. 15 10, 695					1. 15 10, 695			1. 15 10, 695	
		0 0 712.075			0 0 246,995					0 0 191, 545			0 0 341, 195	
(11)単位		79, 119. 44千円/箇所 82, 331. 67千円/箇所				240, 330	131, 043							041, 130
2. 事業の評価 (D0+CHECK)														
	業の評価 (DO+CHECK)												
2. 事	業の評価 (D0+CHECK 評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性)	若松地区の沼側のになり大雨の度に	頻繁に浸水被害が発	排水路の放流先とな 生している。このこ	前 評 価 る手賀沼との水位差が少ないために、自然流 とから若松地区の5年確率降雨に対応する排 害が大幅に減少すると推測される。		○①事前確認での想定 ○②事前確認での想定 <想定どおりとした理(どおり どおりでなかった	面(評価結果に応し	ジ、改善案材	討(拡充も含む	3))		改善検討 〇要 〇不要
(1)事	評価項目 常価項目 常が今必要である理由・	若松地区の沼側の になり大雨の度に パス管の整備が必	頻繁に浸水被害が発要不可欠であり、建 マスマックであり、建 NPO、市民団体等で	排水路の放流先とな 生している。このご 設することで浸水被 では実施できない	る手賀沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排		○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E □①民間企業、NPO	さだおり さどおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等では3	かった原因>		対(拡充も含む		由>	O要
2. 事	評価項目 常価項目 常が今必要である理由・	若松地区の沼側の になり大雨の度に パス管の整備が必 ●①民間企業、ト (理由) □法令等	頻繁に浸水被害が発 要不可欠であり、建 NPO、市民団体等でで市が実施すること 体が市しかない	排水路の放流先とな 生している。このご 設することで浸水被 では実施できない	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。		○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E	どおりでなかった とどおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等では9 にければ実効性がなか	かった原因> 実施できなかった いった				由>	O要
2. 事 (1) 事 档 必 要 性 (2) 市	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は	若松地区の沼側のになり大雨の度にバス管の整備が必 ●①民間企業、ト (理由) □法令等 ■提供主 □その他	頻繁に浸水被害が発 要不可欠であり、建 NPO、市民団体等でで市が実施すること 体が市しかない。 る市が推進すべきであ	排水路の放流先とな 生している。このご 設することで浸水被 では実施できない が定められている	る手質沼との水位差が少ないために、自然流 とから若松地区の5年確率降雨に対応する排 害が大幅に減少すると推測される。		○②事前確認での想定 <想定どおりとした理目 ○①見間企業、NPO ○②市が主導で進めな ○③市が先導役となっ 促進された ○③中で選が政策・ ○⑤サービス水準が確	どおり とおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなか たことで市民へ普及 施策の目標の実現に 保された	かった原因> 実施できなかった いった 及が一層 こ貢献した				由>	○要 ○不要
2. 事: (1) 事背 必要性(2) 市あ	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性)	若松地区の沼側のになり大雨の度になり大雨を備が必 ●①民間企業、トラインでは、1000円では、100	頻繁に浸水被害が発 要不可欠であり、建 NPO、市民団体等で で市が市しかない 体が市はない る市が推進すべきによ 導で進めることとに 施・提供することとに	排水路の放流先とな 生している。このご 設することで浸水被 では実施できない が定められている ある り実効性が得られる	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E □①民間企業、NPO □②市が主導で進めなっ 促進された □④市の支援が政策・ □⑥サービスの安定供 □⑦その他	どおり とおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなか たことで市民へ普及 施策の目標の実現に 保された	かった原因> 実施できなかった いった 及が一層 こ貢献した				由>	〇要 〇不要
2. 事: (1) 事背 必要性(2) 市あ	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	若松地区の沼側のになり大雨の度になり大雨の度にパス管の整備が必●①民間企業、今等上間では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日	頻繁に浸水被害が発建 要不可欠であり、建 アの、市民団なこいで市が実施するい。 で市が実かない。 はずで進供するい。 はずで進供するにとにない。 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないでは、 はないのは、 はない。 はないのは、 はないのは、 とないのは、 とないのは、 とないのは、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、 と、	排水路の放流先とな 生している。このご 設することで浸水被 では実施できない が定められている り実効性が得らたる りより、良質で安定し	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理目 ①①見間企業、NPO □②市が生導役となっ 促進された □④市の支援が販策・ □⑤サービス水準が強	どおり とおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなか たことで市民へ普及 施策の目標の実現に 保された	かった原因> 実施できなかった いった 及が一層 こ貢献した				由>	○要 ○不要
2. 事: (1) 事背 必要性(2) 市あ	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	若松地区の沼側のになり大雨の度になり大雨の度にパス管の整備が必●①民間企業、今等上間では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日では、一日	頻繁に浸水被害が発 要不可欠であり、建 アPO、実施するに で市が東施するい る市が推進すべきにより 施・提供証さとにより で選するる 投するるる り取り	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで浸水被 では実施できない が定められている り実効性が得られる りより、良質で安定 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ -	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理E □①民間企業、NPO □②市が主導で進めなっ 促進された □③市の支援が政策・ □⑤サービスの安定供 □⑦その他 〈その他の内容〉	どおり とおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなか たことで市民へ普及 施策の目標の実現に 保された	かった原因> 実施できなかった いった 及が一層 こ貢献した		具体的な内容・	必要性の理		○要 ○不要
2. 事: (1) 事背 必要性(2) 市友(i	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか?	若松地区の沼側のになり大の南の度になり大の南のでが、	頻繁に浸水被害が発達 要不可欠であり、建 アクであり、 で市が実力を は、	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで浸水被 では実施できない が定められている り実効性が得られる りより、良質で安定 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理目 □①民間企業、NPの □②市が主導で進めなつ □③市が先導役として連手が発された □③サービスの安定供 □③サービスの安定供 <その他の内容>	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等では写 いければ実効性がなか たことで市民へ普及 施策の目標の実現に 保された 終基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の ○①当初	具体的な内容・ 参加・協 期待した以上			○要 ○不要
2. 事: (1) 事背 必要性(2) 市あ(i	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 市実施の必要性)	若松地区の沼側のになり大雨の度になり大雨のでは、	頻繁に対しています。 対象を では、	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理目 □①民間企業、NPの □②市が主導で進めなつ □③市が先導役として連手が発された □③サービスの安定供 □③サービスの安定供 <その他の内容>	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなたたことで市民へ普が 施策の目標の実現に 保された 総基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の 〇①当初 〇②当初	具体的な内容・参加・協	必要性の理		○要○不要○不要○不要
2. 事: (1) 事背 必要性(2) 市あ(i	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 方実施の必要性)	若松地区の沼側のになり大雨の度になり大雨のでは、	頻繁に対している。 「ない」では、	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理目 □①民間企業、NPの □②市が主導で進めなつ □③市が先導役として連手が発された □③サービスの安定供 □③サービスの安定供 <その他の内容>	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなたたことで市民へ普が 施策の目標の実現に 保された 総基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の ○①当初 ○②当初 ○③当初	製体的な内容・参加・協 朝待した以上 明待したとおり の期待した	必要性の理		〇要 〇不要 〇不要
2. 事: (1) 事情 必 要 性 (2) 市友(1) 未友(1) 未友(1)	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? お実施の必要性)	若松地区の沼側のになりである。	頻繁に対している。 類繁に対している。 別では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理目 □①民間企業、NPの □②市が主導で進めなつ □③市が先導役として連手が発された □③サービスの安定供 □③サービスの安定供 <その他の内容>	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなたたことで市民へ普が 施策の目標の実現に 保された 総基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の ○①当初 ○②当初 ○③当初	製体的な内容・参加・協 朝待した以上 明待したとおり の期待した	必要性の理	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事: (1) 事背 必 要 性 (2) 市 あ(1)	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? お実施の必要性)	若松地区の沼側のになり大雨を備が必り大雨を備が必り大雨を備が必り大雨を備が必りた。 ●①民間企業、等等主型の位は、 一〇②自治には、 一〇②自治には、 一〇③管理の他の②事業計画時に、 ○③管理のと共の。その他の③音でのと共の。その他	頻繁に対している。 では、	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E □①民間企業、NPの □②市が主導で進めない □③市が先れた改革を表れた改革を表れた改革を大れた改革を大いでは、の会がサービスの安定供 ○③サービスの安定供 <その他の内容> 実施した参加・協働が考	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなた たことで市民へ等が 施策の目標の実現に 保された 総基盤が確保された 総基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の ○①当初 ○②当初 ○③当初	参加・協 専得したととおり の期待したとおり の期待しなった五	必要性の理!	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事 (1) 事情 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 타 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? お実施の必要性)	若松地区の沼側のになりです。 「「はなりでのでは、「ではなりででは、「ではなりでは、」では、「ではなりでは、」では、「ではなりでは、」では、「ではなりでは、」では、「ではなりではないが、」では、「ではなりではないが、「ではないが、」ではないないが、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」では、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」では、「ではないが、」ではないが、」では、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、「ではないが、」ではないが、ではないがではないいはないではないいはないではないいいがではないいはないではないがはないいはないではないいはないではないいはないではないいはないいはないではないいはないがはないいはない	頻繁に対している。 では、 は、 は	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E □①民間企業、NPの □②市が主導で進めない □③市が先れた改革を表れた改革を表れた改革を大れた改革を大いでは、の会がサービスの安定供 ○③サービスの安定供 <その他の内容> 実施した参加・協働が考	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなたたことで市民へ普が 施策の目標の実現に 保された 総基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の 〇①当初初 〇②当初初 <期待した	参加・協 朝待した以上 朝待したとおり の期待しなった理 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 では、まり のがまと のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがまり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがまり のがまり のがままり のがままり のがも のがまり のがなり のがまり のがも のがまり のがまり のがも のがも のがも のがも のがも のがも のがも のがも	必要性の理は	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事 (1) 事情 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 타 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 市実施の必要性)	若松地区の沼側にになりである主味では、「等主体の大きなりでは、「では、「では、「では、「では、」」では、「では、「では、」」では、「では、「では、「では、」」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「	頻繁不可をはいる。 「ないではいいる。 「ないではいい。」 「ないではいい。」 「ないではいい。」 「ないではいい。」 「ないではいい。」 「ないではいい。」 「ないではいい。」 「ないではいい。」 「ないではいい。」 「ないい。」 「ないいい。」 「ないいい。」 「ないいい。」 「ないいい。」 「ないいいい。」 「ないいいいい。」 「ないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E □①民間企業、NPの □②市が主導で進めない □③市が先れた改革を表れた改革を表れた改革を大れた改革を大いでは、の会がサービスの安定供 ○③サービスの安定供 <その他の内容> 実施した参加・協働が考	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなた たことで市民へ等が 施策の目標の実現に 保された 総基盤が確保された 総基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の ○①当当初 ○②当当初 <期待した ○①想定	要体的な内容・参加・協明待した以上という。 明特した以とおりの期よとなった理 環境を受ける。 は上となった理 でなかったという。	必要性の理! 動の程度・P型由/期待以	内容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要
2. 事 (1) 事 (1) 事 (1) 市工(体 市工(体	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 市実施の必要性)	若松地区の沼側にになりである主味では、「等主体の大きなりでは、「では、「では、「では、「では、」」では、「では、「では、」」では、「では、「では、「では、「では、」」では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「	頻繁に対している。 「ない」では、	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E □①民間企業、NPの □②市が主導で進めない □③市が先れた改革を表れた改革を表れた改革を大れた改革を大いでは、の会がサービスの安定供 ○③サービスの安定供 <その他の内容> 実施した参加・協働が考	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなた たことで市民へ等が 施策の目標の実現に 保された 総基盤が確保された 総基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の ○①当当初 ○②当当初 <期待した ○①想定	参加・協 朝待した以上 朝待したとおり の期待しなった理 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 環が表する。 では、まり のがまと のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがまり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがままり のがまり のがまり のがままり のがままり のがも のがまり のがなり のがまり のがも のがまり のがまり のがも のがも のがも のがも のがも のがも のがも のがも	必要性の理! 動の程度・P型由/期待以	内容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2.事 (1) 事書 (2) 市工(体 環境へ 環境へ	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 市実施の必要性)	若松地区の沼側のにかの (になり) (ではなり) (ではなり) (ではなり) (ではなり) (ではなり) (では、下等主はでは、下等主は、下等主は、下等主は、下等主は、下等主は、下等主は、下等主は、下等主	頻要 Pで体 あっぱい では では とこる いまり で	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E □①民間企業、NPの □②市が主導で進めない □③市が先れた改革を表れた改革を表れた改革を大れた改革を大いでは、の会がサービスの安定供 ○③サービスの安定供 <その他の内容> 実施した参加・協働が考	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではま ければ実効性がなた たことで市民へ等が 施策の目標の実現に 保された 総基盤が確保された 総基盤が確保された	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した	<市実施の ○①当当初 ○②当当初 <期待した ○①想定	要体的な内容・参加・協明待した以上という。 明特した以とおりの期よとなった理 環境を受ける。 は上となった理 でなかったという。	必要性の理! 動の程度・P型由/期待以	内容	○ 要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要
2. 事 (1) 事情 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 市 表 (1) 타 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 表 (1) 市 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和 和	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 市実施の必要性)	若松地区の河側のにいる。 「等主体地区の河側のにいるなりでのでは、 「等主体のでは、 「等生体のでは、 「等生体のでは、 「等生体のでは、 「等生体のでは、 「等生体のでは、 「等生体のでは、 「等生体のでは、 「等生体のでは、 「等性のでは、 」」を使います。 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 「等性のでは、 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」」を使います。 「等性のでは、 「等性のでは、 」」を使います。 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」を使います。」を使います。 「等性のでは、 」」を使います。 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」」を使います。 「等性のでは、 」を使います。 「等性のでは、 」を使い、 「等性のでは、 」を使い、 「等性のでは、 」を使い、 「等性のでは、 」を使い、 」を使い、 「等性のでは、 」を使い、 」を使い、 「等性のでは、 」を使い、 」を使い、 「等性のでは、 」を使い、	頻要 Pで体 あっぱい では では とこる いまり で	排水路の放流先とな 生している。ことで浸水被 生している。ことで 設することできない が定められている かり実効性が得られる より、良質で安定し 策・施策の目標の	る手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排害が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 <想定どおりとした理E □①民間企業、NPの □②市が主導で進めない □③市が先れた改革を表れた改革を表れた改革を大れた改革を大いでは、の会がサービスの安定供 ○③サービスの安定供 <その他の内容> 実施した参加・協働が考	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではないでない。 、市民団体等ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した で (又は今後、 その内容)	<市実施の ○①当当初 ○②当当初 <期待した ○①想定	要体的な内容・参加・協明待した以上という。 明特した以とおりの期よとなった理 環境を受ける。 は上となった理 でなかったという。	必要性の理! 動の程度・P型由/期待以	内容	○ 要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要
2.事 (1)事情 市ま(i) 市ま(i) 市ま(i) 市ま(i) 市ま(i) 環境への配慮 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 市実施の必要性)	若松地区の沼側のにいるのでは、「等主体地区の沼側のにいるなりでのでは、「なりでは、「なりでは、「なりでは、「なりでは、「なりでは、「なりでは、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「では、「	頻要 P で	排水路の放流先となった。 生している。 生している。 では実施できない が定められている ありより、 策・施策の目標の まか、 では実施できない のでは実施できない のでは実施できない のでは実施できない のでは実施できない のでは実施できない のでは実施できない のではまする。 のではまする。 はまずる。 はまする。 はまする。 はます。 はます。 はまする。 はます。 はます。 はます。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	高手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排書が大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ - - -	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理師 □①良間企業、NPのな □②市が生海でといるでは、100円のでは、1	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではない にければとで市民へ等ではない たたまではないでない 施策された を接きれた の具体的な内容 えられる場合にはそ	がった原因> 実施できなかった かった ひが一層 こ貢献した こ (又は今後、 での内容)	<市実施の 〇①当当初 〇②当当初 〈期待した 〇①2を定する。	製体的な内容・参加・協 朝待したとと 取りりでなかった理 どどおりでなかった原	必要性の理は 動の程度・戸 理由/期待以、 意への配慮 た	内容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○○ ○ ○
必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 必要性 参加・協働の工夫 環い	学師項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性はるか? ち実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? ごごくり)	若松地区の沼側のにいている。	頻要 Pで体 高導施ス援図 下で体 高導施ス援図 下で体 では、 さにとり 政 の りり にここれなる でいい が 進めるするとに が 動画画連施 配 いるる で で は で で な で な で で な で で な で で な で で な で で な で で な で で な で で な で で な で す な とこるより の りり こここれな 動画画連施 配 いるる で ここで な で ま を で してて 貢献 に ここで な な は 或 に で な な な な に な の の り に ここで な な な な な な な で ま な に と い 政 の の の の る は な に な の の り に ここで な な な な な で い い が で 事 で に な の の の る は な に て い い が で 事 で に な の の る は な に て い い が で 事 で に な の の る は な に て い い が で 事 で に な の の る は な に て い い が で 事 で に な か で 事 で な が で 事 で な が で 事 で な が で 事 で な が で 事 で な か で す な で か で す な で な か で す な で な か で す な で な か で す な で な で な か で す な で な で な で な で な で な で な で な で な で	排水路の放流先となる生態することでは実施でいるとでは実施ですることでは実施ですることでは実施でする。 では実施られている ある実対、は実施られている の実対、にないでは実施のが変にない。 の場別に関連のでは、 のないなどには、 のないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	を手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排標をが大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理理 □①良間企業、NPのな □②市が生き導役と □④市サービスの安定 □①・サービスの安と 実施した参加・協働が考 達成状況 達成状況 ・ 「「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではない にければとで市民へ等ではない たたまではない 施策された 総保された 動の具体的な内容 えられる場合にはそ	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した で (又は今後、 その内容)	<市実施の 〇①当当初 〇②当当初 〈期待した 〇①2を定する。	製体的な内容・参加・協 朝待したとと 取りりでなかった理 どどおりでなかった原	必要性の理は 動の程度・戸 理由/期待以、 意への配慮 た	内容	○要 ○不要 ○の不要要 ○の不要要 ○の不要要 ○の不要要 ○の不要要 ○の不要要
2.事 (1)事情 市ま(i) 市ま(i) 市ま(i) 市ま(i) 市ま(i) 環境への配慮 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮	学師項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性はるか? ち実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? ごごくり)	若松地区の沼側のに必の下にない。 ●① ① ② ② ② ② ② ③ ● ② ② ③ ● ② ② ③ ● ② ② ③ ● ● ○ ② ② ③ ● ○ ② ② ④ □ ○ ② ② ④ □ ○ ② ② ④ □ ○ ② ② ● ○ ○ ② ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	頻要 Pで体 る では と い な と こ と い な と こ と い な と と と い な の 内 容 で 体 る 市 が 推 進 め 仕 す さ こ と い な と こ る よ り い で 体 る 市 で 本 が ま の の の か と こ こ る よ り い か の の の か と 正 と い な 働 面 自 有 携 し て い 献 面 面 面 連 施 し て て 献 は に て い が は し て て 献 献 に て い い い る る て い い る る て い い る る て い い る る て い い る る て い な る す は か し し て て 献 献 に 百 献 献 に 百 献 献 に る ま か し し て て 献 献 に る ま か し い な る す は か し い な る す が は に す 献 献 に る ま か し い な る す は か し い な る す な は な い る る て い な る す な は な い る る す な が は か し な な ま か し い な る す な が は に す す か は な な な な な な な な な な な な な な な な な な	排水路の放流先となる生生している。 またい ない は実施できない ない は実施でもている の は実施でもている の は実施でもている の は は で が 定 の は と が で は で で で で で で で で で で で で で で で で で	高手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排書が大幅に減少すると推測される。	水ボンブ及びバイ	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理目 □①民間企業。、N P のない P の P の P の P の P の P の P の P の P の P	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではないでない。 、市民団体等ではないではないではです。 施策の目標の実現に保された を第一個の具体的な内容を えられる場合にはそ した具体的な内容を した具体的な内容を した具体的な内容を	かった原因> 実施できなかった かった のか一層 こ貢献した こで 「又は今後、 この内容) 〇〇②目標値を達成成成 「世界を達成した 「関係を達成した 「関係を認成した 「関係を認成した	〈市実施のの ○①当当初初初初の ○②当日した ○②2目を定定 <期待した <想定とまま 本達成 本書車/未達成 本書車/未達成	具体的な内容・参加・協 参加・協 期待した以とおり の期はした以とおり のは、以上となった理 でなかった原 となった原因〉	必要性の理! 動の程度・「「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「	内容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○○ ○ ○
2. 事情 (1) (2) (2) 市工(体 環境への配慮 (1) (1) 環境への配慮 (2) (1) (3) (1) (4) 環境の配慮 (5) (1) (6) (1) (7) (1) (8) (1) (1) (1) (2) (2) (3) (1) (4) (2) (5) (2) (6) (3) (7) (3) (8) (4) (9) (3) (1) (3) (1) (3) (1) (3) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (8) (4) (9) (4) (1) (4) (1) (4) (1) (4) (2) (4) (3) (4) (4) (4) (5) (4) (6) (4) (7) (4) (8)	学師項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? 市実施の必要性) こ配慮して事業を進めて か? 標設定は適切か?	若松地区の沼側のに必めている。	頻要 Pで体	排水路の放流先となった。 生設することででは実施できないる。 では実施できないる。 の対象を表している。 ある。 は実施できないる。 の対象では、 では実施できない。 の対象では、 では実施できない。 の対象では、 では実施できない。 の対象では、 では実施できない。 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	であ手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排標を対大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ 会員会との協議の場	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理目 □①民間企業。、N P のない P の P の P の P の P の P の P の P の P の P	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等では対 にければ実市民へ を にければとでする にはなき を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	かった原因> 実施できなかった かった 及が一層 こ貢献した (又は今後、 -の内容) 〇①目標値達成 〇②目標値未達成 〈目標を達成した項	<市実施のの ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	具体的な内容・参加・協物・協力にという。 場合した以よおり 以上となった理 環がでなかった原因〉	必要性の理! 働の程度・戸 連由 / 期待以 意への配慮 た	内容 下であった原因> 様について	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○○ ○ ○
2. 事業 (1) (1) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (1) (4) (2) (5) (1) (6) (1) (7) (2) (8) (1) (9) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (9) (8) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (1)	学師項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性はるか? ち実施の必要性) の参加や市民との協働を しているか? ごごくり)	若松地区の沼側のに必めている。 「はなり管のでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できません。」 「「自然を表しているがでに、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できません。」 「「自然を表します。」 「「自然を表しません。」 「「自然を表しません。」 「「自然を表しません。」 「「自然を表しません。」 「「自然を表しません。」 「「自然を表しません。」 「「「自然を表しません。」 「「「自然を表しません。」 「「「「「「」」」 「「「「」」」 「「「」」」 「「「」」 「「」」	頻要 P P 市が市	排水路の放流先となった。 生とはすることでできないる。 では実施できないる。 では実施できないる。 ありより、 策・・施策の目標のの では現況況当等ののは値とした。 「空現況況当等のはできない。 「空現況況当等のはできない。」。 「空現況況当等のはできない。」。 「空現況況当等のはできない。」。 「空現況況当等のはできない。」。 「空現況況当等のはできない。」。 「中間ではない水準」。 「中間ではない水準」。	であ手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排標を対大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理師 □①良間企業、NPのな □②市が生導役と □④市が先き導役・ □⑥サービスの安定供 □⑥サービスの中の中容 実施した参加・協働が考 ・ 実統状況 実績値(f)(%)	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではな にければとで市民の実現に がたことで市民の実現に を変わた 施策の目標の実現に 経済された を強基盤が確保された を表達を した具体的な内容 えられる場合にはそ と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がった原因> 実施できなかった かった かった を できなかった かった を できなかった かった できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなができながった。 できながらなができながった。 できながらなができながった。 できなができながった。 できなができなができなができなができなができなができなができなができなができなが	<市実施のの ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	製体的な内容・ 参加・協 朝待したと下 期待けしたと下 以上となった理 どおりでなかった原 となった原因〉 事業の想	必要性の理! 動の程度 がある。 動の程度 がある。 の配慮 たた のの配慮 たた である。 では では では では では では では では では で	内容 下であった原因> をについて なかった	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○○ ○ ○
2.事事 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率 が要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 (1)目	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性はるか? たま施の必要性) の参加や市民との協働を でづくり) こ配慮して事業を進めて 標設定は適切か?	若松地区の沼側のにいている。	頻要 P で	排水路の放流先となった。 生設すすることでで表示に表示。 では実施られているのかであります。 では実施られているのかであります。 では実施られているのかであります。 でもているのかであります。 でもているのかであります。 一〇鬼現現適にしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	であ手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排標を対大幅に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ		どおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではな にければとで市民の実現に がたことで市民の実現に を変わた 施策の目標の実現に 経済された を強基盤が確保された を表達を した具体的な内容 えられる場合にはそ と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	がった原因> 実施できなかった かった かった を できなかった かった を できなかった かった できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった のない。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなができながった。 できながらなができながった。 できながらなができながった。 できなができながった。 できなができなができなができなができなができなができなができなができなができなが	<市実施のの ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	具体的な内容・参加・協明特した以とおりにという。 以上となった理想があるかった原因〉 さいでなかった原因〉 事前ののとなった原因〉 事がののと	必要性の理! 動の程度 がある。 動の程度 がある。 の配慮 たた のの配慮 たた である。 では では では では では では では では では で	内容 下であった原因> をについて なかった	○要要 ○○の不要要 ○○ののののののののののののののののののののののののののののののののののの
2. 事業 (1) (1) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (8) (8) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (1) (4) (2) (5) (1) (6) (1) (7) (2) (8) (1) (9) (2) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (7) (7) (8) (7) (9) (8) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (2) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (8) (8) (9) (9) (1) (1) (1)	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性はるか? たま施の必要性) の参加や市民との協働を でづくり) こ配慮して事業を進めて 標設定は適切か?	若松地区の河側のに必います。	頻要 Nで体	排水路の放流先となった。 生設すすることでで表示に表示。 では実施られているのかであります。 では実施られているのかであります。 では実施られているのかであります。 でもているのかであります。 でもているのかであります。 一〇鬼現現適にしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のとしているでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	であ手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排に減少すると推測される。	水ポンプ及びバイ	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理理 □①官用企業で進めな □②市が生き導役と □②市が生き導化が政準が関係が変更による □③市が生きをによる □③市が生きをによる □③市が生きをによる 「□③市が生きをによる 「車がなる」を 「車がなるる」を 「車がなる」を 「車がなる」を 「車がなる」を 「車がなるる。 「車がなるる。 「車がなるる。 「車がなるる。 「車	だおりでなかった 由 / 想定 どおりでな 、 市民団体等ではないでな 、 市民団体等ではないでない。	かった原因> 実施できなかった かった層 こすがった できなかった かった 層 こすがった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなかった。 できなができながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながった。 できながながった。 できながながった。 できながながった。 できながながった。 できながながながながながながながながながながながながながながながながながながなが	< 市実施のの ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	具体的な内容・・ 参加・協 朝待した以上の	必要性の理(の程度・中 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	内容 下であった原因> 様について いかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事情 (1) 事情 (2) 市工(体 市工(体 環い (1) 事情 (2) 市工(体 境る (1) 目 (2) 第一 (3) 目 (3) 事じ (4) 目 (4) 第一 (5) 日 (5) 日 (4) 日 (6) 日 (7) 日 (7) 日 (9) 日 (1) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (3) 日 (9) 日 (4) 日 (9) 日 (5) 日 (9) 日 (6) 日 (9) 日 (7) 日 (9) 日 (7) 日 (9) 日 (9) 日 (9) 日 (1) 日 (9) 日 (1) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (1) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (1) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (1) 日 (9) 日 (1) 日 (9) 日 (1) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (3) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (3) 日 (9) 日 (2) 日 (9) 日 (3) 日	評価項目 業が今必要である理由・ 素は?(事業の必要性) が実施する必要性は るか? あか? かかのを加いるか? こ配慮して事業を進めて は適切か? 標設定は適切か? 業費削減の工夫をして 標値を実現する為に	若松地区の河側のに必います。	頻要 P で	排水路の放流先との流光との流光との放流 という。 は実め から という は実施 らい いる では 実施 らい ない いる でいた でいた でいた でいた が 質 で 目 様の の は 策 の の は 策 の の は 策 の の で 現現 別別 当 の は の 取り 間 ② 3 雑 民間 の 取り 間 ③ 4 ま でいた の ま が で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	であ手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排標を対大幅に減少すると推測される。	水ボンブ及びバイ と	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理E ○③申前確認での想定 〈想定じおりとした理E ○③申が達さ導味で進めない。 「○③中が進さ度スペの安 〈その他の内容〉 実施した参加・協働が考 ・ 実権値(f)(%) 実権値(g)(千円) ・ (を超過理由等〉	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等では 、 市民団体等では 、 市民団体等では にければとで ・ 施策の相称 ・ でなな ・ でななな ・ でなな ・ でなななななななななな	かった原因> 実施できなかった かった ながった をかった ながった ので 言献した こ で (又は今後、 この内容) 日標標値成成 選達未 した 理楽定業費 の② 想収定事想と の③ 想定事題と の③ 1 目標標値以上 の② 1 目標標値と の○ 3 世界 1 世界	<市実施ののの101 ○101 ○203 当当した ○203 ○4 根接定 と表達成 本達成 「根表」 「本達成 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表表表」 「本表表表」 「本表表表表」 「本表表表表」 「本表表表表表」 「本表表表表表表表」 「本表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	具体的な内容・ 参加・協 朝待した以上の	必要性の理(の程度・中 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	内容 下であった原因> をについて なかった	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事: (1) おきには、 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 が変性 がまたには、 がまたには、 環境への配慮 (1) 目 事には、 日投 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価項目 業が今必要である理由・ 景は?(事業の必要性) が実施する必要性はるか? た下実施の必要性) の参加や市民との協働をしているか? でにいるか? では、こ配慮して事業を進めて 「では、できない。」 「では、できない、できない。」 「では、できない。」 「では、できない。」 「では、できない。」 「では、できない、できない、できない、できない。」 「では、できない、できない、できない。」 「では、できない、できない、できない、できない。」 「では、できない、できない、できない、できない、できない、できない、できない、できない	若松地区の河側のに必います。	頻要	排水路の放流先との流光との流光との放流 という。 は実め から という は実施 らい いる では 実施 らい ない いる でいた でいた でいた でいた が 質 で 目 様の の は 策 の の は 策 の の は 策 の の で 現現 別別 当 の は の 取り 間 ② 3 雑 民間 の 取り 間 ③ 4 ま でいた の ま が で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	であ手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排に減少すると推測される。	水ボンブ及びバイ と	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理理 ○③市が生きに変して、 ○③市が生き導役とした。 ○③市が生き導役とした。 ○③市が生きが上のでは、 ○⑤サーーの他 ○○の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の中の	だおりでなかった 由/想定どおりでな 、市民団体等ではなけた に接ってない ではないではない にければとで市民の実現に になる を接った をではない をでいる をでいる をでいる をでいる をでいる をでいる をでいる をでい	かった原因> 実施できなかった いった いった のできなかった いった ので	<市実施ののの101 ○101 ○203 当当した ○203 ○4 根接定 と表達成 本達成 「根表」 「本達成 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表表表」 「本表表表」 「本表表表表」 「本表表表表」 「本表表表表表」 「本表表表表表表表」 「本表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	具体的な内容・ 参加・協 朝待した以上の	必要性の理(の程度・中 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	内容 下であった原因> 様について いかった った原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
2. 事: (1) おきには、 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 が変性 がまたには、 がまたには、 環境への配慮 (1) 目 事には、 日投 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	評価項目 業が今必要である理由・ 業は?(事業の必要性) が実施する必要性はるか? の参加や市民との協働を しているか? でいるが? でいるが? では適切か? 標設定は適切か? 禁費削減のエ夫をして 標はを実費する適正か? 標値を実費する適にできます。	若松地区の河側のに必のでは、「今年では、「今日では、「	頻要	排水路の放流先となった。 「は実めからした」では実施られている 「は実がからいるとでです。 「は実がかられた」では、実施られている 「なりより、 施策の目標の 「なりまり、 施策の目標の 「なりまり、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	であ手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排標を対大幅に減少すると推測される。	水ボンブ及びバイ と	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理E ○③申前確認での想定 〈想定じおりとした理E ○③申が達さ導味で進めない。 「○③中が進さ度スペの安 〈その他の内容〉 実施した参加・協働が考 ・ 実権値(f)(%) 実権値(g)(千円) ・ (を超過理由等〉	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等では 、 市民団体等では 、 市民団体等では にければとで ・ 施策の相称 ・ でなな ・ でななな ・ でなな ・ でなななななななななな	かった原因> 実施できなかった かった ながった をかった ながった ので 言献した こ で (又は今後、 この内容) 日標標値成成 選達未 した 理楽定業費 の② 想収定事想と の③ 想定事題と の③ 1 目標標値以上 の② 1 目標標値と の○ 3 世界 1 世界	<市実施ののの101 ○101 ○203 当当した ○203 ○4 根接定 と表達成 本達成 「根表」 「本達成 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表表表」 「本表表表」 「本表表表表」 「本表表表表」 「本表表表表表」 「本表表表表表表表」 「本表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	具体的な内容・ 参加・協 朝待した以上の	必要性の理(の程度・中 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	内容 下であった原因> 様について いかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事: 事: (1) 事: (2) 事: (2) 市工(体 環い (3) 事: (3) 事:	評価項目 業が今必要である理由・ 業は?(事業の必要性) が実施する必要性はるか? の参加や市民との協働を しているか? でいるが? でいるが? では適切か? 標設定は適切か? 禁費削減のエ夫をして 標はを実費する適正か? 標値を実費する適にできます。	若松地区の沼側のに必の (理由) □ (では、 「等主他の (では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」	頻要	排水路の放流をとなった。 「は実施の放流をとなった。 「は実施のないないですがです。 「は実施のないないですがです。 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	であ手質沼との水位差が少ないために、自然流とから若松地区の5年確率降雨に対応する排標を対大幅に減少すると推測される。	水ボンブ及びバイーの協議の場合の協議の場合を表している。	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理E ○③申前確認での想定 〈想定じおりとした理E ○③申が達さ導味で進めない。 「○③中が進さ度スペの安 〈その他の内容〉 実施した参加・協働が考 ・ 実権値(f)(%) 実権値(g)(千円) ・ (を超過理由等〉	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等では 、 市民団体等では 、 市民団体等では にければとで ・ 施策の相称 ・ でなな ・ でななな ・ でなな ・ でなななななななななな	かった原因> 実施できなかった かった をかった ながった をかった ので	○①当期 (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本) (本本	具体的な内容・ 参加・協 朝待した以上の	必要性の理(の程度・中 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	内容 下であった原因> 様について いかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事: 事: (1) 事: (2) 事: (2) 事: (3) 事: (3) 事: (4) 事: (4) 事: (5) 日日 事: (5) 日日 事: (4) 日日 事: (6) 日日 事: (1) 日日 事: (7) 日日 日長(日本) (2) 日長(日本) (3) 日日 日長(日本) (4) 日日 日長(日本) (4) 日日 日本: (4) 日日 日長(日本) (5) 日日 日長(日本) (4) 日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本	評価項目 業が今必要である理由・ 業が今必要性は を	若松地区の沼側のに必の (理由) □ (では、 「等主他の (では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 「では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」では、 」	頻要	排水路の放流先となった。 「は実施の放流をしている。 「は実施のないないですがです。 「ないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	である 実施予定の対策 の実施 「日標値の要当性のテエックータ・事実に基づき設定している 「実現性が乏しい値ではない」である。 実施予定の対策 「日底活用」の対応 「日底活用」の対応 「日底活用」の対応 「日底活用」の対応 「日底活用」の対応 「日底 「日底活用」の対応 「日底	水ボンブ及びバイーの協議の場合の協議の場合を表している。	○②事前確認での想定 〈想定どおりとした理E ○③申前確認での想定 〈想定じおりとした理E ○③申が達さ導味で進めない。 「○③中が進さ度スペの安 〈その他の内容〉 実施した参加・協働が考 ・ 実権値(f)(%) 実権値(g)(千円) ・ (を超過理由等〉	どおりでなかった 由/想定どおりでな 、 市民団体等では 、 市民団体等では 、 市民団体等では にければとで ・ 施策の相称 ・ でなな ・ でななな ・ でなな ・ でなななななななななな	かった原因> 実施できなかった かった をかった ながった をかった ので	<市実施ののの101 ○101 ○203 当当した ○203 ○4 根接定 と表達成 本達成 「根表」 「本達成 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表」 「本表表」 「本表表表」 「本表表表表」 「本表表表」 「本表表表表」 「本表表表表」 「本表表表表表」 「本表表表表表表表」 「本表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表表	具体的な内容・ 参加・協 朝待した以上の	必要性の理(の程度・中 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	内容 下であった原因> 様について いかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○